

アフガニスタン復興 NGO 東京会議

地域別分科会アピール

E. 西部 ヘラート周辺

1. 地域の特徴

人口 240 万人。イランとトルクメニスタンとの国境線が長く、難民、帰還民、国内避難民が常に往来する。過去 20 年間の戦争により、インフラ、医療施設、教育施設、行政機関は破壊された。人権侵害も行われたが、国際的関心は低い地域でもある。

2. 目的とニーズ

NGO、政府、民間セクター間の協力により社会、文化、経済発展を促進する。

(1) 緊急課題

- ・ 地雷対策
- ・ 道路復旧
- ・ 国内避難民・難民支援
- ・ 農業・牧畜の生産向上
- ・ 灌漑施設の復旧
- ・ コミュニティ発展、社会生活回復、平和構築、和解活動
- ・ 教育・職業訓練
- ・ 農業・小規模事業へのクレジットプログラム
- ・ 通信手段、マスメディア施設
- ・ 保健医療ケア
- ・ 文化遺産の保護
- ・ 治安の確保

(2) 中期的課題

- ・ インフラ整備（道路、灌漑、衛生施設、エネルギー供給施設、水供給施設）
- ・ 通信手段の充実
- ・ 住居再建
- ・ 帰還民・難民・国内避難民対策
- ・ 地雷除去資金の持続的確保
- ・ アグロインダストリー発展
- ・ 代替エネルギー確保のための代替技術開発
- ・ 小・中規模産業、企業家の育成
- ・ 地方産物の加工と市場開拓
- ・ 鉄道敷設
- ・ 公共・民間・ボランティアセクターの人材育成
- ・ 鉱山開発（天然資源管理）
- ・ 観光業の発展
- ・ 印刷業興業
- ・ センサス実施と統計出版

3. 提言

- (1) 復興支援は当面無償資金で行う
- (2) 治安の確保
- (3) ドナーをはじめとする国際社会との長期的協力
- (4) アフガン市民社会の主体的参加
- (5) 効率的な統治機構の構築
- (6) アカウンタビリティと透明性の確保

4. 結語

経済的潜在力をもつ地域であるため、短期的にも成果を出せる包括的な復興支援が必要である。